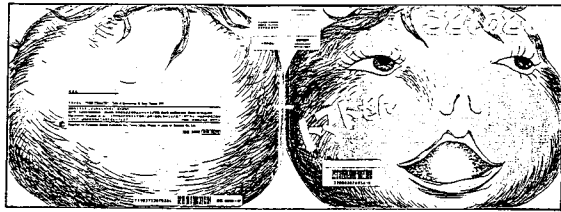


子どもたちといっしょに

「トマトさん」 田中清代 さく (福音館書店)

暑いアツイ夏がやってきました！畑の作物も太陽の光をいっぱいを受けてきらきら輝いています。それにしても、この表紙は迫力がああります。ありすぎる



というくらいあります。

真っ赤に熟れたトマトさんは暑い夏の日、ミニトマトたちが涼しそうに小川へ飛び込んでいくのを見かけます。すると、とがげたちが通りかかって、「トマトさんも

およいだら」と声をかけますが、トマトさんは「ふふん、けっこう」と意地をひります。ちょっとプライドの高いトマトなんですかね。でも、しばらくしてひとりぼっちになったトマトさんは「わたしもおよぎにいきたいよう」と涙を流します。それを聞いた、むしやとがげたちは「えい、えい、えーい！」と力を合わせてトマトさんを転がします。「ごろん ごろん ごろ ごろ」……「びゃっぷーん！」つめたい水につかったときのトマトさんの顔といたら、これ以上ないというくらい気持ち良さそうです。

トマトが嫌いな子もいると思いますが、「トマトさん」はきっと好きになってくれると信じています。

【図書館員のひとりごと】 7月に魚沼市の湯之谷中学校で行われた栗村節子さんのブックトークを見学してきました。そこで会った校長先生がすごく楽しい人で、あんなにもパワフルで明るい校長先生に会ったことがありません。一個の人間対人間で話をしてくれて、楽しい話ができました。同じような目線で話をしてくれているので、中学生にとっても良き相談相手になっているようです。そして、何より好感が持てたのは、子どものような探求心を持っていることです。楽しい時間を過ごせたとし、自分も見習わなければならぬと思いました。

8月の行事 ブックバス

2 (水) 絵本のじかん 3:00~		20 (日) 第70回読書会 2:00~	
5 (土) おはなし会 3:00~	新飯田農公 14:30~15:00 戸石公 15:30~16:00	23 (水) 絵本のじかん 3:00~	
9 (水) 第39回あかひのぼん 絵本のじかん 3:00~		25 (金) 雑誌リサイクル	
12 (土) おはなしが例会 10:00~ おはなし会 3:00~	大通地C 14:30~15:00 根岸農公 15:30~16:00	26 (土) おはなしが例会 10:00~ おはなし会 3:00~	大通地C 14:30~15:00 根岸農公 15:30~16:00
16 (水) 絵本のじかん 3:00~		30 (水) 絵本のじかん 3:00~	
19 (土) こわ〜い おはなし大会 3:00~	新飯田農公 14:30~15:00 戸石公 15:30~16:00	* 毎週月曜日と月末は休館します	



# しろね図書館だより

発行 新潟市立白根図書館  
平成18年8月1日

No. 75

☆ 今月の展示架「平和」 (展示架の本も借りられます)

今年もやります!! こわ〜いおはなし大会  
夏休み、図書館でこわいおはなしや絵本を聞いて涼しくなろう。

「ラプンツェル」「白い家のおじいさん」「鬼の首引き」「山寺の化けもの」などなど、日本の、世界のこわいおはなしや絵本が盛りだくさん!

- ▶ とき 8月19日(土) 1回目 3:00~3:30 (小さい子むけ)
- (各回30人まで) 2回目 3:30~4:00 (小さい子むけ)
- 3回目 4:00~4:30 (小学生から)
- 4回目 4:30~5:00 (小学生から)



▶ ところ 白根図書館 おはなしのへや

\* 当日2:30から図書館のカウンターで整理券を配ります。  
主催 しろね図書館友の会 【子どもゆめ基金助成活動】

7月の

来館者.....20,191人  
貸出冊数.....17,125冊  
予約件数.....225件

ブックバス利用者.....633人  
ブックバス貸出冊数.....1,621冊

リクエスト情報 (しばらくお待ち下さい)

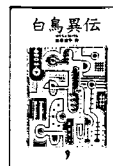
- 1位 東京タワー (15名)
- 2位 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上下 (12名)
- 3位 ダヴィンチ・コード 上下 (10名)
- 4位 陰日向に咲く (6名)
- 5位 明日の記憶 (5名)

NEWS! スライドトーク&アフリカライブ「アフリカの風 大地の音」

9月23日(土) 白根学習館ラズバックホール 午後1:30~4:00  
チケット 前売り) 大人1,000円 当日) 大人1,200円  
高校生以下 無料 (ただし、整理券が必要です)



(主催 しろね図書館友の会)



第70回読書会 「白鳥異伝」 萩原規子 作 (徳間書店)

日時 8月20日(日) 午後2:00~  
場所 白根学習館ルーム2 (しろね図書館友の会 しろね図書館 共催)

図書館員がおすすめするこの一冊

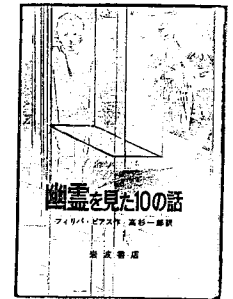
「幽霊を見た10の話」

フィリパ・ピアス 作 高杉一郎 訳 (岩波書店)

夏といえば、こわい話は付き物ですよね。子ども達は特にこわい話が大好きで、図書館でも季節を問わず「おぼけの本ありますか?」とか「こわい話の本ありますか?」といった類の質問をよく受けます。小さな子ども達にはおぼけの出てる絵本などを紹介するのですが、小学校高学年以上にはこの本をおすすめしたいと思います。もちろんこの本は大人でも読み応えがある、こわくて不思議なおはなしの短篇集です。

老人が少年時代の不思議な体験を語る「水門で」という話は、中学校の国語の教科書に載っていたので、その時に読みました。不思議で悲しいけれども家族の愛情を感じるこの作品は、当時から印象に残っていて、大人になってからまた読んだ時は感動しました。

使われていなかった客間を掃除した日から、大好きなおばあちゃんの家で、弟と姉に恐ろしい事が起こる「ミス・マウンテン」という話。他の短篇もただ単にこわいというだけでなく、人間の恐怖や心理を見事に描いていて、こわい話が苦手な人でも文学作品として楽しめると思います。幽霊だけでなく、小人や魔女、妖精が登場する話もあります。



(ティーン 933ピ)  
司書 中川沙穂里

フィリパ・ピアスの作品では、「トムは真夜中の庭で」や「まぼろしの小さい犬」、「サティン入り江のなぞ」などが有名で、読まれているのですが、この本のように隠れたおもしろい本をたくさんの人におすすめできるのも図書館員の楽しみの一つです。

# 報告

7月2日に開催された栗村節子さん講演会「子どもと本との架け橋人になろう」(しろね図書館友の会主催)は163人(スタッフ26人含む)の参加がありました。ありがとうございます。これを機に、「子ども」と「うれしくて楽しい本の世界」をつなぐ架け橋人が増えてくれることを期待します。

7月1日に行われた「開館6周年おはなし大会」も126人(子ども64人、大人62人)に参加していただきました。19日には「こわ〜いおはなし大会」もありますので、お楽しみに。

## 第69回 読書会

平成18年7月16日(日)  
午後2時〜 参加者6名

### 『小人たちの新しい家』(岩波書店)

メアリー・ノートン 作  
猪熊 葉子 訳



小人たちのシリーズの第5作目です。

4作目では、人間に見られないように生活してきた小人のポッド、ホミリー、アリエツティの親子が、人間の協力により安心な暮らしを手に入れます。しかし、小人たちを見世物にして金儲けをたくらむプラター夫妻に誘拐されてしまいます。けれども小人たちは、気球を使ってプラター夫妻のもとから脱出します。

この5作目は、金儲けをあきらめきれないプラター夫妻から小人たちは逃げ切れるのか、また、安心して暮らせる場所を小人たちが見つけられるのかを、4作目から21年経っているとは思えないほどの描写で書かれています。

#### ◆◆参加者感想◆◆

○前作と比べて、今回は人間たちがたくさんでてきて、それらの人間模様も書かれている。そういう意味では、これまでのシリーズとは別な風にも読めた。

○小人との区別ができないくらい人間の登場が多く感じた。さし絵も、主人公の小人ではなく、人間だけの場面もあった。小人たちはもつと遠くに旅をしていたのかと思ったら、そんなに遠くではなかったようだ。わりに狭い地域のなかですごしていたんだな、と思った。

○小人の「本当に必要なものだけ」というところに、私たち人間は文明へ過度の依存をしているのかも、と感じた。

○小人のティミスがプラター夫妻に見つかったてしまい、逃げる場面では手に汗をにぎり、面白かった。

○新しく小人のピーグリンが登場したときは、スピラーのライバル?と思う、その存在も面白く思った。

○幽霊がでてくるが、小人たちは怖がっていない。人間はその幽霊を怖がっているが、小人たちにとっては幽霊より生きている人間の方が怖い。本当に危険なのは人間のほうでした。という一文は、作者が一番言いたかったことなのかも?

○人間は、金儲けのためにはいろんなことをするんだと思った。

○小人たちが本当にいたら楽しい。

○80歳の作者が書けるのはすごい。大人になってもこういう気持ちを忘れずいたいと思う。

…などなど、たくさんの感想がありました。

\*\*\*\*\*  
\* 次回の読書会は

\* 荻原規子著「白鳥異伝」

\* (徳間書店)です。

\* 参加希望の方はカウンターで本を貸\*

\* し出していただきます\*

\* い。

\* みなさんの参加をお待ちしています。

\*\*\*\*\*

(内山 香)